



2022年7月21日

各位

会社名：株式会社 SDS ホールディングス  
代表者名：代表取締役社長 伊藤 象二郎  
(コード番号：1711 東証スタンダード)  
問い合わせ先：管理本部長 田中 圭  
(Tel:03-6821-0004)

## SDGs 推進委員会の設置に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、代表取締役の任意の諮問機関として、SDGs 推進委員会を設置することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 委員会設置の目的

当社では、電力不足や再生可能エネルギー需要拡大等への対応が急がれている現状におきまして、外部の専門家を招聘し、代表取締役の諮問機関として社内に SDGs 推進委員会を設置し、高まる再生可能エネルギー需要や SDGs 対応需要への事業上の取組、及び社内活動における SDGs の目標設定などについて検討し、推進すべく、施策を講じてまいります。

今後は、グループ内のみならず、外部の専門家及び団体・企業等にもご参加いただき、社外活動として、SDGs に関する推進活動を行う組織を組成し、これを運営することで、持続可能な社会の構築に貢献し、活動の幅を拡大していきたいと考えております。

#### 2. 委員会の役割

SDGs 推進委員会では、中期的な当社の成長と企業価値向上を目指す為、当社グループ各社・事業部のリソースを集結・連携させ、サステナビリティへの取組みを強化し、直近の電力不足等の状況及び、急速に高まる SDGs 対応への需要への取組みを考察し促進してまいります。また、多様化する SDGs への取組みについて、事業・財務・調達等様々な角度から当社が社内外で社会的企業として実行すべき活動・事業運営等について、検討してまいります。

#### 3. 委員会の構成

SDGs 推進委員会では、取締役会決議によって選定された取締役2名（うち1名は独立監査等委員）及び外部有識者1名並びに社内技術者1名により構成し、必要に応じて委員を増員いたします。尚、設立時における構成員は、次の通りです。

委員長 関原 竜也（取締役）  
委員 金古 幸香里（独立監査等委員）  
委員 宮永 雅好（東京理科大学教授）  
委員 義永 秀樹（技術士・エネルギー管理士）

#### 4. 設置日

2022年7月21日

## 5. SDGs 推進委員会の取組事業について

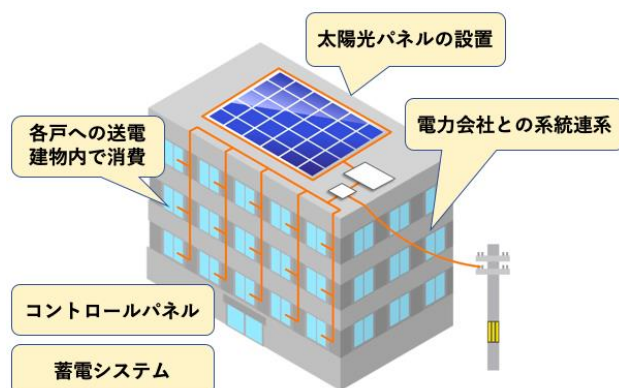
### 【自家消費型太陽光発電システムの集合住宅向け事業】

#### I. 株式会社金太郎ホームとの連携による、住宅向け再生可能エネルギー事業の検討

東京都・千葉県を中心に、約 800 棟のマンション等建設施工実績を持つ、株式会社金太郎ホーム（千葉県千葉市 代表取締役 佐々木和博氏）が推進する、住宅・マンションの開発販売事業において、当社が進める自家消費型太陽光発電システムを導入するビジネスモデルを、SDGs 推進の観点から、検証・推進して参ります。マンションなどへの同システム導入により、住宅の使用電力をクリーンなものへ転換し、電力料金削減とオーナーの収益にも寄与することで、持続可能な社会への貢献を目指します。

#### II. 株式会社イエローキャピタルオーケストラの物件を活用した、住宅向け再生可能エネルギー事業の検討

今期より当社連結子会社となりました、株式会社イエローキャピタルオーケストラ（イエロー社）は、約 100 戸の区分所有物件を保有していますが、当社 100%子会社である株式会社省電舎（省電舎）のノウハウを連携させた、自家消費型太陽光発電設備の住宅向け提供事業を企図し、集合住宅における再生可能エネルギーの活用方法を、検証・検討してまいります。



当社では、長年培ってきた再生可能エネルギーシステムのノウハウを活かし、自家消費型太陽光発電システムの活用を、様々な施設向けに提案して参りました。前期においても、北陸地方の工場への自家消費型太陽光発電システムを納入し、本年 5 月から本格稼働に入るなど、今年の酷暑を前に、お客様には、たいへん喜んでいただいております。

SDGs 推進委員会では、省電舎における、こうした実績と知見を活かし、より幅広い目的の施設向けに、自家消費型太陽光発電システムのご提案を進めることを検討すると共に、金太郎ホーム社、イエロー社など住宅関連事業者が、建設・設計・運営等に関わるマンションなど集合住宅向け太陽光発電システムの開発を進めてまいります。

◆ 当社の自家消費型太陽光発電システム導入実績

① H スーパー	② K 食品工場	③ A 部品工場
		
設置面積 850 m <sup>2</sup>	設置面積 1300 m <sup>2</sup>	設置面積 1700 m <sup>2</sup>
DC 150kw AC100kw	DC 225kw AC150kw	DC 300kw AC200kw
年間発電量 166 MW	年間発電量 249 MW	年間発電量 332 MW
電力料金削減 282 万円/年	電力料金削減 410 万円/年	電力料金削減 531 万円/年
単純投資回収 7 年	単純投資回収 9 年	単純投資回収 8 年

当社は引き続き、温暖化・災害・衛生の三大リスクに対し、ソリューションを提供し、遠い未来、近い将来、今の社会に貢献してまいります。

以上